

## ピラポ移住地概要（イタプア県）



ピラポ移住地は、パラグアイ南東部のイタプア県ピラポ市にあり、首都であるアスンシオン市から約 400km 地点、第二の都市であるエンカルナシオン市から約 70km 地点に位置しています。ピラポ市の総面積は約 84.000 ヘクタールであり、基幹作物は大豆で冬作には小麦が栽培されています。

## ピラポ日本人会



ピラポでは日系移住者及びその子孫により日本人会が組織されています。ピラポ日本人会では、日本人会事務所の他、ピラポ日本語学校及び付属幼稚園をはじめ、多目的ホール、ゲートボールやパークゴルフ、サッカーなどが楽しめる総合公園、グラウンド、診療所、薬局、土木部基地、職員宿舎、相撲場、寿春会のいこいの家、日会林など、多彩な施設を運営管理しています。

## 社団法人ピラポ日本人会

住所: パラグアイ国-イタプア県-ピラポ市-中央地区

電話: (+595 768) 245 223

E-mail: [piraponihonjinkai@hotmail.com](mailto:piraponihonjinkai@hotmail.com) / [piraponihonjinkai@yahoo.co.jp](mailto:piraponihonjinkai@yahoo.co.jp)

## ピラポ日本語学校



日本語による正しい会話及び読み書きができ、日本語による教育を通じて日本の文化、習慣を身に着け、日系パラグアイ人としての自覚を持つ人材を育て上げるため、1986年にピラポ日本語学校が設立されました。現在(2022年12月)、日系、ハーフ及び非日系を含め、幼稚園、小学校、中学校の全体で165名の生徒が日本語を学んでいます。なお、日本語学校の主な行事として、遠足、

運動会、こどもの日、入植祭、事業参観、学習発表会などが行われています

## ピラポ診療所及び薬局

日本人会が経営する小規模私立診療所であり、入植当初(1961年)は日系移住者向けの医療ケアサービス機関として設立されましたが、現在では地域住民全般に対して医療サービスを提供しています。7つの入院室と2つの救急処置室があり、内科、外科、小児科、産婦人科、眼科、歯科のサービスの他にも、24時間体制の緊急診療や、看護師による訪問診療を行っている。日系人医師と、日系人医療スタッフが在籍しているため、日本語で受診できます。

## ピラポ農業協同組合

ピラポ移住地の日系人の主な事業は大型機械化農業による大豆栽培です。メインの作物の他にも小麦、トウモロコシ、菜種などが栽培され、同農協に出荷しています。これらの作物の生産規模は面積的及び生産量においても最も大きい組合である。

## ピラポ農業協同組合スーパーマーケット

ピラポ農業協同組合が経営するスーパーマーケットでは、日本食品(お米。日本のインスタント食品、日系人の手作りの食品(漬物類、おかず、スイーツ、タレ等)、調味料、お酒など)や海外から取り寄せた魚介類(パラグアイは内陸国であるため、海の魚介類はすべて輸入物)も販売されており、日本語での買い物ができます。

## 行き方

アスンシオンバスターミナルからエンカルナシオン市行きの長距離バスで約6時間。エンカルナシオン市のバスターミナルからアルトパラナ県エステ市行きのバスに乗り換え、ピラ

ポ市の入口 “Silo Estrella”（エンカルナシオンから約 1.5 時間程度の場所）で降り、タクシーを利用してピラポ市街地まで移動。

ラパス移住地からだと Ruta Graneros del Sur 経路でピラポ市街地まで行くことができます。アルトパラナ県からだと、エンカルナシオン市行きの長距離バスに乗り、ピラポ市の入口 “Silo Estrella”で降り、タクシーを利用してピラポ市街地まで移動。